

広報はむら

平成22年1月1日新春特集号

※新春特集号（6～13ページ）は、取り外して利用することができます。



◆ 目次 ◆

新春対談

市長と語ろう2010・・・⑦

新春イベント

動物公園お正月のイベント・・・⑪

ゆとろぎ お正月を遊ぼう

成人式

活力市 だるま市・・・⑫

マミーショッピングセンター
日曜朝市

郷土博物館

企画展 まゆ玉飾り

スイミングセンター

お年玉感謝2DAYS

伝承行事 どんと焼き・・・⑬

平成22年消防出初式

交通安全推進委員会出動式

新春対談 市長と語ろう 2010



石川綾子 (広報広聴課) 教育長 角野征大 羽村市長 並木 心 関根ハンナさん 齊藤寛文さん 鈴木深央里さん

あけまして

おめでどうございませす

新春を迎え、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと、心からお慶び申し上げます。

1月1日号は、これからの社会を担う中学生三人をお迎えし、市長と教育長とともに今年の抱負を語っていただきました。

【司会】 今回は、これからの社会を担う中学生三人をお招きし、並木市長と角野教育長とともに今年一年の抱負を伺っていきます。

まずはじめに、市長から市民の皆様へ年頭に当たってのごあいさつを申し上げます。

平成22年は長期総合計画の仕上げと、新たな基本構想への第一歩

【市長】 あけましておめでどうございます。

昨年は、市政の運営にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

平成22年は、第四次羽村市長期総合計画の仕上げと、これに続く新たな基本構想への第一歩を刻む大切な年であることから、予算編成方針に次の基準を掲げ、その作業を進めています。

まずは、第四次羽村市長長期総合計画後期基本計画に計画された事業を確実に実施し、基本構想に掲げる市の将来像の実現に向け、活力あるまちづくりの歩みを更に力強いも

この対談の様子は、1月1日(金)から6日(水)までのテレビはむらでご覧いただけます。
※画像の一部は、テレビはむらの映像を使用しています。

のとしてまいります。

次に、現時点において平成

22年度以降の経済状況が非常に不透明であり、回復の見通しがつかないことから、これらの状況を乗り越えるための緊急的な取り組みとして、できる限り市民生活に影響を与えないことを主眼に、第一次の「緊急経済対策」を、全庁一丸となって実施してまいります。

そして、市民に最も身近な基礎自治体として、あらゆる社会の変化に積極的かつ迅速に対応し、市民生活を守り、このような時にこそより一層市民の視点に立ち、市民の声に



機敏に反応し、市民と手を携えて連携してまいります。

また、市内産業の活性化のための緊急経済対策など、将来に繋げていくための施策を強化し、安定的な財政基盤の確立を目指します。

現在の経済情勢に起因するさまざまな課題が増えておりますが、そのような中で、創意工夫に努め、市民の皆様との社会不安や、経済不況による影響を極力押さえ、その負託に応えていくことが、私に課せられた大きな使命でありますので、困難に正面から立ち向かい、果敢に取り組んでいく決意であります。

いづれにいたしましても、今年が羽村市にとって良い年となるよう、全力を傾けてまいります。

市民の皆様におかれましては、将来の輝かしい羽村市を創造していくために、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

司会 続いて、角野教育長に年頭のごあいさつをお願いします。

「不易」と「流行」

教育長 あけましておめでとございます。

昨年は教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

教育委員会では、生涯学習社会の実現に向け、学校教育・社会教育の充実、文化・スポーツの振興などに取り組んでおりますが、本年も市民の皆様のご協力をいただきながら、更なる充実に向けて取り組んでまいります。



古来、羽村では羽村びとの風土・精神として「進取の気性」という言葉があり、羽村を特徴づける言葉だと思えます。

また、教育の世界では「不易」と「流行」という言葉がありますが、変化に対応していかなくてはならないものは、しつかりと対応していく必要があると思います。

今年もそうした考えのもとに、羽村の教育行政を進めていきたいと考えております。

司会 それでは、三人をご紹介します。

今年三月に義務教育を終えて新たに巣立とうとする中学校三年生にお越しいただきました。今回各中学校から推薦された、関根ハンナさん、斉藤寛文さん、鈴木深央さんです。それでは皆さんよろしくお願ひします。

司会 みなさんに伺います。今夢中になっていることはありますか。



スポーツに夢中

関根 昨年の夏に海外派遣事業で10日間アメリカに滞在させていただき、とてもアメリカという国に興味を持ちました。テレビなどでアメリカについての特集を見ることや、ホームステイで出会った素敵な皆さんと連絡を取ることに夢中になっています。

また、ホストファミリーにつれられ、木の枝から川に飛び込んだことで、今まで以上にスポーツをすることがすごく好きになったので、受験勉強の気晴らしに友達とスポーツをすることにも夢中になっています。

市長 他の国を知り、興味を

持つことは、自分の視野を広げることにもなります。

また、スポーツをすごく好きになったことは素晴らしいと思います。ぜひ、継続して頑張ってください。

古典に興味

鈴木 最近国語の勉強にはまっています。前から読書は好きだったので、読解だけでなく、文法なども好きになってきました。あまり得意ではないのですが、古典にも興味があります。受験が終わったら三大和歌集のどれかを読んでみたいと思います。

市長 最近、日本人の読解力の低下がマスコミでも取り上げられています。鈴木さんが読書を好きなことは、非常に大切なことだと思います。これからも国語に親しんで、深く研究してみてください。

野球と「気持ち」

斉藤 今夢中になっていることは野球です。自分は決して

体が大きいわけではないし、足が速いわけでもないです。

でも、それをカバーする「気持ち」。それだけで今まで野球をやってきました。これから、もっともっと「気持ち」という面を強くして、新たな高校野球というステージで自分を磨いていこうと思います。

教育長 斉藤君は、生徒会長を務めながら、野球では羽村リトルシニアのキャプテンも務め、2009年USSSA全米選手権大会に選手として出場し、さらに優勝したことは、大変立派なことです。

また、「気持ち」というものは、何にでも当てはまることです。今後その「気持ち」を自分のものとして、歩いていってください。



さいとうひろふみ
▲斉藤寛文さん
(羽村第二中学校)